

A stylized illustration of a blue and white Shinkansen train moving from left to right. A small, round, white character with a yellow star on its head and a backpack is sitting on the roof of the train. The background is white with several colorful, curved lines (orange, green, purple) and small star-like shapes, suggesting speed and a festive atmosphere.



フル規格新幹線とは

その主たる区間を時速200キロ以上で走り、踏切を設けない高架・立体交差や直線的なルートによる新幹線で、安全性や安定輸送が期待されます。

現在の山形新幹線は「ミニ新幹線」と呼ばれており、在来線区間での最高速度が時速130キロであるなど、速度や安定性に制限があります。国内では、山形新幹線と秋田新幹線が「ミニ新幹線」となっています。

新幹線の基本計画

昭和47年に政府の基本計画に位置づけされた新幹線の路線

東北新幹線	盛岡～青森	平成22年12月開業	完成に 目途
北海道新幹線	青森～新函館北斗	平成28年3月開業	
	新函館北斗～札幌	平成43年開業予定	
北陸新幹線	長野～金沢	平成27年3月開業	
	金沢～敦賀	平成35年開業予定	
	敦賀～大阪	未定	
九州新幹線	博多～鹿児島	平成23年3月開業	
	武雄温泉～長崎	平成34年度開業予定	

昭和48年に政府の基本計画に位置づけされた新幹線の路線

奥羽新幹線	福島～秋田	山形県が関係する路線	未着工
羽越新幹線	富山～青森		
北海道南回り新幹線	長万部～札幌		
北陸・中京新幹線	敦賀～名古屋		
山陰新幹線	大阪～下関		
中国横断新幹線	岡山～松江		
四国新幹線	大阪～大分		
四国横断新幹線	岡山～高知		
東九州新幹線	福岡～鹿児島		
九州横断新幹線	大分～熊本		
中央新幹線（リニア）	品川～名古屋	平成39年開業予定	
	名古屋～新大阪	平成49年開業予定	

昭和47年に基本計画に位置づけされた路線は、完成に目途がついてきました。そのため、次の昭和48年に基本計画に位置づけされた路線について、全国各地で様々な取組みが始まっています。

県内の動き

米沢市奥羽新幹線整備実現同盟会は平成28年6月20日に設立されましたが、県内の各地域で次々と組織が発足され、県内でもフル規格新幹線整備に向けた動きが加速しています。



組 織	設立年月日
山形県奥羽・羽越新幹線整備実現同盟	平成28年5月22日
山形県庄内地区羽越新幹線整備実現同盟会	平成28年11月2日
最上地域奥羽新幹線整備実現同盟会	平成29年9月20日
山形圏域奥羽新幹線整備実現同盟会	平成30年1月5日

なぜフル規格新幹線が必要なのか

地方創生の実現と交流人口の拡大

人口減少が急速に進行する中で、東京圏への一極集中を是正し、産業や人材を地方に呼び込むことによって、地方創生の実現を可能なものとします。

また、東京をはじめ、沿線地域との時間距離が短縮され、観光などによる交流人口の拡大に期待ができます。

さらに、地域間における新たな企業連携や、沿線地域のイメージや認知度の向上を契機としたブランド力向上など、地域の様々な分野での活性化に繋がります。



時間短縮効果イメージ

東京～米沢間	
つばさ（ミニ新幹線）	1時間56分
↓ 奥羽新幹線	約1時間30分



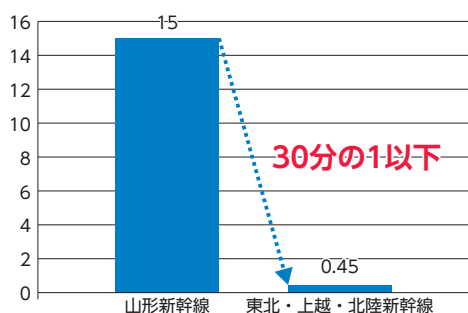
※他のフル規格新幹線を参考に試算したイメージです。最短の所要時間を記載。

安全・安定輸送性の向上

踏切を設けない高架や立体交差構造であることから、多くの乗客を安全かつ安定的に運ぶことができ、雪害対策設備の整備により、雪による輸送障害にも強く、定時性に優れています。

また、現在、JR東日本では、山形新幹線の運休・遅延が最も多く発生する山岳区間（福島～米沢間）において、全長約23kmのトンネル整備の事業化に向けた検討が進められています。将来のフル規格新幹線の実現を見据えたトンネル整備の早期事業化により、より安定した輸送が可能となります。

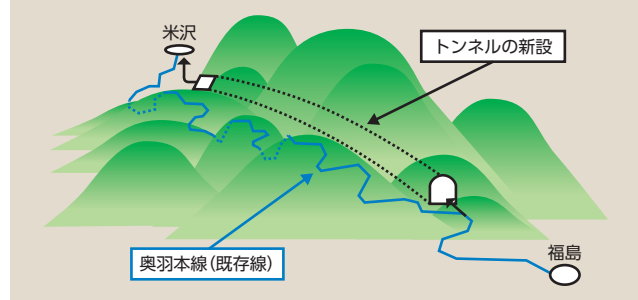
JR東日本管内における輸送障害発生件数
(H27年度 100万kmあたり)



※県のパフレット資料等より引用



山形新幹線の抜本的防災対策（イメージ）



将来のフル規格新幹線実現の足がかりに！

要望内容について

上記の必要性により、各関係機関への要望活動の中で、当面の間は次の項目を要望していきます。

- (1)奥羽新幹線全線のフル規格による整備に必要な調査の早期実施
- (2)山形新幹線の福島～米沢間のトンネル整備による抜本的な防災対策の早期実施

当会の活動

中央省庁への要望活動や広報・啓発活動の実施、講演会やシンポジウムの開催など、当会関係者が一丸となり、また、県内関係団体等とも連携し、奥羽新幹線の実現に向けた取組みを進めています。

要望活動



(左) 内閣府 (中) 国土交通省 (右) 財務省 への要望 ※県や各地域同盟会と合同 (H29.12.1)

広報・啓発活動



県同盟と合同で実施 (H30.1.28 イオン米沢店)

市民の方々に、フル規格新幹線の必要性や効果などをお伝えするとともに、実現への期待などをお伺いしています。

平成29年度促進大会での意見発表



県同盟主催 (H29.8.23 山形市)

米沢青年会議所の佐藤美洋氏（当時専務理事）が、米沢を代表して、新幹線の必要性や今後の取組みについて発表しました。

シンポジウムの開催や講演会の実施



当会設立総会後のキックオフイベントの様子 (H28.6.20)



県同盟と共催のシンポジウムの様子 (H29.2.11)



当会総会後開催された、藤沢和弘氏による講演会 (H29.8.7)

今後の活動

昭和47年に政府の基本計画に位置づけされた新幹線の中で最も早く開業した路線でも、基本計画から開業まで約38年の期間を要しています。そのため、当会の活動も長期的な活動となりますが、継続的に国土交通省等への要望を行うほか、市民への情報発信など、地域の一層の盛り上がりを図りながら、山形県や県内各地域の同盟会と連携し、フル規格奥羽新幹線の早期実現に向けた運動を推進していきたいと考えています。



米沢市マスコットキャラクター
かねたん

米沢市奥羽新幹線整備実現同盟会

事務局

米沢市金池5丁目2番25号 米沢市役所 総合政策課内
TEL 0238-22-5111 FAX 0238-24-4540

今こそ、実現の時！



やまがた創生の幹となる